

法人理念	<ul style="list-style-type: none"> ✿キリスト教精神に基づいて子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりがより良く育つことを大切にする。 ✿保護者や地域社会と力を合わせて、児童の福祉を増進し家庭支援を行う。 ✿職員は豊かな愛情をもって接し養護と教育の一体化を図るために、より一層専門性を高め技術向上に努める。 						
営業時間	8時45分～17時	療育日時	毎週火曜日・15時～16時45分	送迎	無	おやつ	手作りおやつ有
支援方針	<p>テーマ「衣服」を通して言葉の発達を促す。 様々な衣服を着ることで、ボタン、紐を通す、スナップなど開閉も行い手先の巧緻性を高めていきます。また地域へ散歩に出かけ、警察、消防署、ドーナツ屋さんと写真を撮りそれぞれに制服があることに気が付いて同じような格好をすることで、ごっこ遊びを深め言葉でのやり取りを促していきます</p>						

項目	支援内容
本人支援	<p>身の回りのことを自分でやってみようとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやつの準備、帽子をかぶる ・上着、チョッキを着る、置む ・固体石鹼で手を洗う ・靴、靴下を履く ・袋に入れる ・できない時は「てつだって」と言う ・戸外では担任、友だちと手をつなぎ安全に歩くなど、身の回りのこと、過ごし方などを伝えていく。 ・おやつは、当番活動を取り入れて行っています
	<p>体を動かす気持ち良さを感じる かがむ、しゃがむ、投げる、跳ぶ、くぐる、くぐり抜ける、這うなどの活動を行う</p> <p>手先の巧緻性を高める ファスナー、スナップ、フォック、ひも通し、輪ゴムかけなど、両手の協同動作を育みます。</p>
	<p>冬の気候や変化を肌で感じる 戸外の寒さ、植物など見て冬の季節を感じ、気持ちの言語化を担任が行い、冬を身近に感じていけるようにする</p> <p>身近な衣服の素材に触れる 毛糸、フリース、綿、ビニールなどを触る。「暖かい」「気持ちいい」を感じる</p>
	<p>衣服に関する言葉を表現する 「ズボン」「スカート」「ワンピース」「シャツ」「ポケット」「そで」「靴」「靴下」「履く」「脱ぐ」「着る」「ひっくり返す」「ボタン」「ジッパー」「帽子」「くし」「イヤリング」「カバン」など自分で衣服を着る、着飾ることで言語表現を促し、またごっこ遊びを深め友だち、担任と会話を楽しむ。</p>
	<p>ごっこ遊びを楽しむ 服を着ることで役になりきってあそぶ。また服を着ることで友だちと共通のイメージを持つ。</p> <p>ご近所散歩 交番、消防署、ドーナツ屋さん、車屋さんなど見学に行く。</p>
	<p>歌・絵本など 絵本「どうすればいいのかな」「わたしのワンピース」「あけて・あけてえほんひきだし」「ばくのいろなに」 歌絵本「きたかぜこぞうのかんたろう」「ひとつひばちで」「おにのパンツ」 わらべうた「てんやのおもち」「おちゃをのみに」</p>
地域支援・地域連携 (地域交流・園外活動)	地域散歩 園周辺
移行支援	通園している保育園との連携、情報共有を行う
家族支援	写真公開 2月上旬公開 児童発達支援事業所における自己評価 配布 モニタリング 個別支援計画
職員の質の向上	・小児高次脳機能障がいについて ・虐待、身体拘束の適正化のための研修 ・性暴力虐待研修 ・あそまな ホンモノ体験、問い合わせ「プロジェクト活動」
主な行事等	